【資料2-1】海域対策に係る各施策・プロジェクト実施状況一覧表

目標要素	小目標	施策・プロジェクトの名称	施策・プロジェクトの概要	具体的な施策実績 （令和5年4月～令和6年3月）	具体的な施策実績 （令和6年4月～令和6年12月）	今後の施策予定 （令和7年1月～令和7年3月）	今後の施策予定（令和7年度）	施策実施部局
豊かな水環境の実現	多様な生物が生息する、「江戸前」の恵み豊かな海	浚渫土砂等の高度利用の推進	浚渫土砂や建設副産物（スラグ等）の高度利用に向けた施策を推進する。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施。	①― ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施予定。 ③―	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施予定。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施予定。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施予定。	関東地方整備局港湾空港部
		臨海部企業等が有する護岸の改修に対する技術的支援・助言	臨海部企業等が所有する護岸を改修する際に、環境機能を付加させる技術的支援・助言を行う。	・港湾施設の設計・工事における環境保全の配慮に係る取組の強化を目指し、技術基準の改訂やガイドラインの整備に向けて検討を行った。 ・港湾工事におけるCO2排出量の削減やブルーインフラの保全・再生・創出の取組を含むブルーカーボンの活用に資する取組の普及を促進すること等を目的とした試行工事（港湾カーボンニュートラル普及促進試行工事）を令和6年1月1日以降に公告する工事を対象に実施した。	・技術基準の改正やガイドラインの整備に向けて検討を進めた。 ・港湾カーボンニュートラル普及促進試行工事について、取組を実施した。	・引き続き、技術基準の改正やガイドラインの整備に向けて検討を進める。 ・引き続き、港湾カーボンニュートラル普及促進試行工事の取組を実施。	・引き続き、技術基準の改正やガイドラインの整備に向けて検討を進める。 ・引き続き、港湾カーボンニュートラル普及促進試行工事の取組を実施。	国土交通省港湾局
		ブルーカーボンの調査研究・技術開発の推進	生物多様性にもつながる海洋（沿岸域）における炭素貯留（ブルーカーボン）の調査研究・技術開発・活用方策検討を推進する。	・ブルーカーボンの活用に向けて、有識者の知見に基づく議論により施策の方向性を検討するため、有識者及び関係機関で構成される「地球温暖化防止に資するブルーカーボンの役割に関する検討会」を昨年度に続き実施した。（2回（10月、2月）） ・温室効果ガスインベントリにブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計上することを目指し、藻場の分布面積及びCO2吸収量を高精度かつ効率的に把握できるシステムの開発を実施した。	・温室効果ガスインベントリにブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計上することを目指し、藻場の分布面積及びCO2吸収量を高精度かつ効率的に把握できるシステムの開発を実施した。 ・関連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局に毎年提出が義務付けられている温室効果ガス排出・吸収量の報告（2022年度）において、ブルーカーボン生態系のうち、海草藻場・海藻藻場による吸収量を合計約30万t-CO2/年と推定し、報告した。（海藻藻場による吸収量の報告は世界初）	・令和6年度第1回 地球温暖化防止に資するブルーカーボンの役割に関する検討会を2月26日に開催予定。	・引き続き、「地球温暖化防止に資するブルーカーボンの役割に関する検討会」を開催し、ブルーカーボンをCO2吸収源として活用していくための具体的な検討を行う。 ・温室効果ガスインベントリにCO2吸収量として計上する藻場の対象範囲を拡大するため、沖合や深部等に繁茂する藻場における海洋植物の分布面積を高精度に計測・管理するシステムを構築し試験運用を検討する。	国土交通省港湾局
				①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験を実施。 ②人工干潟（潮彩の渚）において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査（2年目）を実施。 ③事務所構内や小学校敷地内において アマモの発芽試験を実施。 ④東京湾の海内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした試験研究に着手。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施。 ②人工干潟（潮彩の渚）において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査（最終年）を実施。 ③事務所構内や小学校敷地内において アマモの発芽試験を実施。 ④東京湾の海内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした試験研究を実施。（2年目）	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施予定。 ②人工干潟（潮彩の渚）において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査（最終年）のとりまとめを行う予定。 ③試験的な移植を継続し、傾向を整理していく予定。 ④東京湾の海内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした試験研究を実施予定。（2年目）	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施予定。 ②人工干潟（潮彩の渚）において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査を踏まえ、調査方法や推定方法の検討を行う予定。 ③事務所構内や小学校敷地内において アマモの発芽試験を実施予定。 ④東京湾の海内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした試験研究を実施予定。（最終年）	関東地方整備局港湾空港部
				盤洲干潟でコアマモ群落を管理してCO2吸収とアサリ増産技術を開発。また、内房海域でアラメ、ワカメの複合型海中林造成技術を開発。	盤洲干潟でコアマモ群落を管理してCO2吸収とアサリ増産技術を開発。また、内房海域でアラメ、ワカメの複合型海中林造成技術を開発。 漁業生産性の向上に資するブルーカーボンの取組を推進するため、「千葉県ブルーカーボン推進協議会」を設置した。	引き続き、技術開発と社会実装を検討する。 令和7年1月に「千葉県ブルーカーボン推進協議会」を開催する。	引き続き、社会実装を検討する。 協議会が実施する普及啓発等の活動を通じて多様な関係者の連携を図り、取組の拡大を図る。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				市内研究機関、漁業協同組合、市民団体等で構成されるブルーカーボン推進検討会を開催（4回：[内訳]全体会2回、藻場造成分科会1回、モニタリング分科会1回）。	①市内研究機関、漁業協同組合、市民団体等で構成されるブルーカーボン推進検討会を開催。（1回） ②市民団体と協働し、コアマモを植え付け体験会を実施。	ブルーカーボンに関する次年度の取り組み内容について検討する。	引き続き、ブルーカーボン推進検討会を開催し、横須賀市におけるブルーカーボンの取り組みを検討する。	横須賀市経営企画部
	生物共生型港湾構造物の整備・改修	生物と共生する港湾構造物の整備を行う。		横浜港新本牧地区において多様な生物環境を実現するため、実証実験を検討し、護岸（防波）A に生物共生構造を設置。	横浜港新本牧地区において多様な生物環境を実現するため、護岸（防波）南側、東側に生物共生構造を設置し、護岸（防波）A も含め設置後の環境の連続について モニタリングを実施。	横浜港新本牧地区において多様な生物環境を実現するため、生物共生構造を設置した護岸（防波）A、南側及び東側の環境の連続について モニタリングを実施予定。	横浜港新本牧地区において多様な生物環境を実現するため、生物共生構造を設置した護岸（防波）A、南側及び東側の環境の連続についてモニタリングを実施予定。	関東地方整備局港湾空港部
				北下浦漁港海岸侵食対策事業を実施し、環境共生機能を持つ消波ブロックを採用した。	北下浦漁港海岸侵食対策事業の変更計画を申請した。	申請の回答待ち。	北下浦漁港海岸侵食対策事業の設計委託と藻場調査を実施する予定。	横須賀市港湾部
		浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを61．6㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを63．9㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1,678.47㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを632㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを1,293.38㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを279㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,173㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを1,595㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を180.7t回収。	清掃船により海上漂流物を207.2t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを327.50㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを182㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
		干潟・浅場等の保全・再生・創出	水質改善や生物多様性の確保に資する干潟・浅場等の保全・再生・創出を行う。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。 ②羽田空港沖に造成した浅場において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。 ②羽田空港沖に造成した浅場において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施予定。 ②―	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施予定。 ②―	関東地方整備局港湾空港部
				有明観水海浜公園において砂浜整備（環境調査・設計）を実施。	有明観水海浜公園において砂浜整備（設計）を実施。	有明観水海浜公園において砂浜整備（工事）を実施予定。	有明観水海浜公園において砂浜整備（工事）を実施予定。	東京都港湾局
				臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備に伴う護岸整備を実施。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備に伴う護岸整備を実施。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備を実施予定。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備を実施予定。	横浜市港湾局
		覆砂	生物多様性にも寄与する底質の改善を目的とした覆砂を行う。	運河部において覆砂を約4,600㎡実施。	―	運河部において覆砂を約1,180㎡実施予定。	実施予定。	東京都港湾局
		汚泥しゅんせつ	底泥から溶出する汚濁物質の低減を図るため、底泥の除去を行う。	運河部において汚泥浚渫を約16,000㎥実施。	運河部において汚泥浚渫を約4,800㎥実施。	運河部において汚泥浚渫を約2,100㎥実施予定。	実施予定。	東京都港湾局
		深堀跡の埋め戻し	周囲が急傾斜で、夏期には内部が貧酸素状態となるなど、浅場機能が低下している深堀跡を、良質な水底土砂を活用して埋め戻し、浅場の機能を改善する。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施。	①― ②―	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め原しを実施予定。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め原しを実施予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港及び浦賀船区において、深掘跡の埋め戻しを実施。	千葉港及び浦賀船区において、深掘跡の埋め戻しを実施。	引き続き、千葉港において、深掘跡の埋め戻しを実施する。	引き続き、千葉港及び浦賀船区において、深掘跡の埋め戻しを実施する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
		漁業活動の活性化	漁業者や漁業団体による漁業の活性化に係る取組を支援する。	計17地区において、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動（耕うん、有害生物の駆除等）を支援した。	計17地区において、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動（耕うん、有害生物の駆除等）を支援した。令和7年3月まで継続予定。	引き続き、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動を支援し、アサリ等の二枚貝資源の増大に取り組むほか、東京湾関係漁連・浪協連絡会議の活動に対し、支援を行う。	引き続き、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動を支援し、アサリ等の二枚貝資源の増大に取り組むほか、東京湾関係漁連・浪協連絡会議の活動に対し、支援を行う。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖浪場改良事業」に対して、水域占用許可を行った。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について協議を行った。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖浪場改良事業」に対して、水域占用許可を行った。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について協議を行った。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖浪場改良事業」に対して、水域占用許可を行う。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について、引き続き協議を行う。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖浪場改良事業」に対して、水域占用許可を行う。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について、引き続き協議を行う。	①横須賀市港湾部 ②横須賀市経済部
楽しく、快適に水遊びのできる海		浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを61．6㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを63．9㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1,678.47㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを632㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを1,293.38㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを279㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,173㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを1,595㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を180.7t回収。	清掃船により海上漂流物を207.2t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを327.50㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを182㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
		NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動を推進する。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行っていく。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行う予定。	千葉県環境生活部 （千葉県県土整備部）
				ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を40回実施。	ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を44回実施。	実施予定。	ボランティアによる海浜清掃活動を実施予定。	東京都港湾局
				令和5年10月22日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	令和6年10月20日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	―	山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーによる海底清掃を実施予定。	横浜市港湾局
				横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'23」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'24」を開催した。100人が参加し、約60kgの漂着ゴミを回収した。 横須賀港平成地区において、（公財）日本財団興会神奈川支部主催の「海辺つり公園水中清掃」に市として協力し、約52kgの海中ゴミを回収した。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」の実施、「海辺つり公園水中清掃」への協力について、調整を進める。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」を実施、「海辺つり公園水中清掃」へ協力する。	横須賀市港湾部
楽しく、親しみやすい東京湾の創出	楽しさあふれるイベントの開催	環境教育・体験活動等の推進	東京湾の自然環境を活かした環境教育・体験活動等を行う。	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを4回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月26日） ・隅田川水面の祭典 「Marine Sports Festival in 隅田川」（6月25日） ・Eco MARINESPORTS Challenge 2023 in 海の森水上競技場（7月30日） ・羽田体験乗船会（8月4日）	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを5回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月23日） ・隅田川水面の祭典2024 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月26日） ・横須賀うみかぜカーニバル2024(深浦ボートパーク6月9日/浦賀ボートパーク7月21日/うみかぜ公園9月8日)	―	引き続き、マリンレジャー普及のための取り組みを継続する予定。	国土交通省海事局
				①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して11回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計12回開催。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催。 小学校の発表会へ出席し、活動をPR。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して10回程度開催予定。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催予定。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催予定。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催予定。	①― ②― ③アマモ移植に関する体験会や、出前講座を予定。 総合学習発表会に出席し、参加完重による年間学習の振り返りの授業を聴講予定。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して10回程度開催予定。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催予定。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催予定。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催予定。 小学校の発表会へ出席し、活動をPR予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、「磯のさきものを探そう」「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「地形模型をつくってみよう」「街中の自然観察―東京の坂海岸線を歩く」「浜金谷の化石採集」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「バケツ一杯の水から海の魚を探る」「うみ魚っぷ＞ 東京湾2023」「ホネール「鮫骨」ウォッチング」「海岸でごろごろひろう」「深海生物を見てみよう」「海の体験コーナー」「みんなでエイ 海のさきものなどの、東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、令和6年度には企画展示「アサクサノリ2―ノリの世界―」を開催。「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「数千年前の地層と化石」「海岸で化石をさがそう」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「バケツ一杯の水から海の魚を探る」「海の体験コーナー」「みんなでエイ 海の生きもの」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、「海岸で貝をさがそう」「深海生物を見てみよう」「海の体験コーナー」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催する。	県内の郷土料理に使用される海の食材を自然誌の視点で紹介する特別展を開催するほか、海鳥の企画展示、海に関連する各種講座等、引き続き様々な様態の施策を実施する。	千葉県環境生活部環境政策課 （文化振興課（中央博物館））
				船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。	船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。令和7年3月まで継続予定。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				・令和5年8月24～25日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生が東京湾内に生息する生きものを観察する「グリーンキッズ2023・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～」を実施（計30人参加）。 ・令和5年12月17日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン わかめ植付けイベント」を実施（計32人参加）。 ・令和6年3月16日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン わかめ収穫イベント」を実施（計32人参加）。	・令和5年8月19日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生が東京湾内に生息する生きものを観察する「グリーンキッズ2024・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～」を実施（計35人参加）。 ・令和6年12月15日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生が海の生きもの観察やわかめの生育、海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「わかめ植付けと海の生きもの観察イベント」を実施（計30人参加）。 ・令和6年10月から 横浜市立緑園義務教育学校の5年生を対象に株式会社八景島及び学校法人フェリス女学院大学（横浜市地球温暖化対策推進協議会会員）と連携し、ブルーカーボンに関する環境教育、及びわかめの植付け体験を実施（計132人参加）。	・令和7年3月に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「わかめ収穫イベント」を実施予定。 ・令和7年3月に横浜市立緑園義務教育学校の5年生を対象に株式会社八景島及び学校法人フェリス女学院大学（横浜市地球温暖化対策推進協議会会員）と連携し、12月に植付けた「わかめの収穫」、及び、流氷が来氣したためのを使用した給食の提供を実施予定。	引き続き各種イベント等を通じてブルーカーボンに関する普及啓発を実施予定。	横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局
				川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年3回）、外航船見学会（年1回）、夏休み海洋環境教室（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年3回）、外航船見学会（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
				横浜貿港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2023」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	横浜貿港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2024」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	「横須賀うみかぜカーニバル2025」の実施内容を検討する。	関係団体と調整のうえ、「横須賀うみかぜカーニバル2025」を実施する。	横須賀うみかぜカーニバル実行委員会（横須賀市等）
		「江戸前」をはじめとした県水産物の魅食普及推進	各種イベント等の機会を捉え、資料を配布するなど「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介する。	「江戸前船橋解ございます」、「三番瀬ホンビノス貝」等千葉ブランド水産物の紹介冊子をフェア等各種イベントで配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介。	「江戸前船橋解ございます」、「三番瀬ホンビノス貝」等千葉ブランド水産物の紹介冊子をフェア等各種イベントで配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介。	引き続き、フェア等の各種イベントで関係資料を配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介する。	フェア等の各種イベントでの関係資料の配布等、「江戸前」をはじめとした県産水産物の認知度向上・販売促進に係る取組を継続的に実施していく。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				横須賀の海の幸に触れてもらう機会として、「よこすかさかな祭り」への支援を実施。	横須賀の海の幸に触れてもらう機会として、「よこすかさかな祭り」への支援を実施。	主催者等の関係者と次年度のよこすかさかな祭り」の内容について協議をしていく。	協力団体と調整のうえ、「よこすかさかな祭り」を実施する予定。	よこすかさかな祭り実行委員会（横須賀市等）
	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを61．6㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを63．9㎥回収。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（ペいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1,678.47㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを632㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを1,293.38㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを279㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,173㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを1,595㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を180.7t回収。	清掃船により海上漂流物を207.2t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを327.50㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを182㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
活動の環（わ）の拡大	活動の輪がつながり、目標の実現のために流域の多様な主体が協力しあう海	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動を推進する。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行っていく。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行う予定。	千葉県環境生活部 （千葉県県土整備部）
				ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を40回実施。	ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を44回実施。	実施予定。	ボランティアによる海浜清掃活動を実施予定。	東京都港湾局
				令和5年10月22日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	令和6年10月20日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	―	山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーによる海底清掃を実施予定。	横浜市港湾局
				横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'23」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'24」を開催した。100人が参加し、約60kgの漂着ゴミを回収した。 横須賀港平成地区において、（公財）日本財団興会神奈川支部主催の「海辺つり公園水中清掃」に市として協力し、約52kgの海中ゴミを回収した。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」の実施、「海辺つり公園水中清掃」への協力について、調整を進める。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」を実施、「海辺つり公園水中清掃」へ協力する。	横須賀市港湾部
		NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成の推進	NPOや企業、漁業者等による藻場等を造成する際の支援等を行う。	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して11回開催。	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して16回開催。	―	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して10回程度開催予定。	関東地方整備局港湾空港部
				「令和の里海づくり」モデル事業により、藻場・干潟等の保全・再生・創出と地域資源の利活用の好循環を目指す取組への支援を実施。	「令和の里海づくり」モデル事業による支援の実施。 「令後の里海づくりのあり方検討会」を通じて、環境省が取り組むべき里海づくりのあり方を有識者等に議論、提言いただいた。	引き続き、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動を支援し、藻場の保全・回復に努める。あり方検討会での議論、提言をふまえ令和7年度以降の里海づくりに取り組む地域の支援のあり方についても検討する。	令和6年度に検討された、今後の里海づくりのあり方に関する提言を踏まえて、戦略的に里海づくりに取り組む地域の基盤構築に向けた支援を実施する。また、良好な水環境創出の一環としてより広くネットワークを構築する。	環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室
				計5地区において、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動（母藻の設置、食害生物の除去等）を支援した。	計5地区において、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動（母藻の設置、食害生物の除去等）を支援した。令和7年3月まで継続予定。	引き続き、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動を支援し、藻場の保全・回復に努める。	引き続き、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動を支援し、藻場の保全・回復に努める。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
		環境教育・体験活動等の推進	東京湾の自然環境を活かした環境教育・体験活動等を行う。	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを4回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月26日） ・隅田川水面の祭典 「Marine Sports Festival in 隅田川」（6月25日） ・Eco MARINESPORTS Challenge 2023 in 海の森水上競技場（7月30日） ・羽田体験乗船会（8月4日）	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを5回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月23日） ・隅田川水面の祭典2024 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月26日） ・横須賀うみかぜカーニバル2024(深浦ボートパーク6月9日/浦賀ボートパーク7月21日/うみかぜ公園9月8日)	―	引き続き、マリンレジャー普及のための取り組みを継続する予定。	国土交通省海事局
				①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して11回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを